

平成26年度第1回南区地域福祉アクションプラン推進委員会 会議概要

- 名 称 第1回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会  
日 時 平成26年5月15日(木) 午後1時30分から午後2時45分  
会 場 白根健康福祉センター3階 多目的ホール  
次 第 1 開 会  
2 副区長あいさつ  
3 新任委員自己紹介  
4 新潟市の地域福祉に関するアンケート調査結果について  
5 新潟市地域福祉計画(案)について  
6 南区地域福祉計画・地域福祉活動計画策定のスケジュールについて  
7 地区座談会の開催について  
8 その他  
9 閉 会

当日配布資料

- ・平成26年度第1回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会会議次第
- ・資料1 平成25年度新潟市の地域福祉に関するアンケート調査結果報告書
- ・資料2 新潟市地域福祉計画(案)
- ・資料3 南区地域福祉アクションプラン(地域福祉計画・地域福祉活動計画)次期計画策定スケジュール(案)
- ・資料4 次期南区地域福祉活動計画策定にともなう地区座談会の実施について

出席者 推進委員[15名]

田中清彦委員, 関根定一委員, 田中吉平委員, 尾竹勝衛委員, 大野朗子委員, 遠藤雪恵委員, 横山勝委員, 渡邊喜夫委員, 笠井昭男委員, 田辺文明委員, 阿部一久委員, 渋川博子委員, 大竹弘委員, 知野美智子委員, 中野裕子委員(欠席:塩原信子委員, 関屋笑美子委員, 宮崎幸一委員, 坪井和之委員, 柳博明委員)

アドバイザー 土橋敏孝氏

事務局

【南区健康福祉課】関根副区長, 高橋課長, 石倉補佐, 伊藤主幹, 長谷川主幹, 袖山主幹, 吉田主幹, 明間主幹, 篠沢係長, 清水係長, 川崎副主査, 小柳副主査

【南区社会福祉協議会】船越事務局長, 阿部補佐, 池田主査, 鈴木主査

報 道 なし

傍聴者 1名

<p>午後 1 時 30 分 事務局</p>	<p>只今より、平成 26 年度第 1 回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会を開催させていただきます。</p> <p>私は本委員会の事務局を務めます、南区役所健康福祉課石倉と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>開会に当たり、関根副区長より皆様にご挨拶申し上げます。</p>
<p>副区長</p>	<p>皆様、こんにちは。南区役所副区長をやっております関根と申します。本日は、皆さん、お忙しいところお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。</p> <p>さて、皆様も十分ご存じのことと思いますけれども、超高齢社会を迎えて、その中でも団塊の世代の皆さんがあと 10 年くらいすると 75 歳を超えていくという状況になってこようかと思えます。そのような中で、新潟市におきましても 2025 年には高齢化率が 30 パーセントを超えるだろうと言われておりますし、この南区においては新潟市より 5 年早く高齢化率が 30 パーセントを超えるのではないかという推計が出されているところでございます。このため、新潟市では、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、関係機関、団体の皆さんと連携しながら、さまざまな事業を展開しているところでございます。</p> <p>そうした中、「～支えあい（愛）のまち“ふるさと南”をめざして～」をスローガンに掲げた南区地域福祉アクションプランも、今年で最終年度を迎えるということになります。今年度は最終年度としての計画の推進はもとより、来年度からの新たな計画の改定作業がこの推進委員会の大きな作業になってこようかと思えます。これまで、それぞれの地域でさまざまな事業に取り組んで、また、実施いただいたところでございます。</p> <p>参考までに申し上げますと、月潟地区では買い物支援ということで、コンビニエンスストアのセブンイレブンと提携して移動販売を始めたということです。当初週 1 回だったものが大変評判がよろしいということで、今、週 2 回移動販売車を運行しているという話を伺っております。また、それぞれの地域におかれましても、介護予防ということでウォーキング等の運動習慣といった活動も実施いただいております。また、地域の茶の間も開設をいただいたところであります。</p> <p>高齢者福祉以外でも、先般、小林地区におきまして、コミュニティ協議会が運営主体となって放課後児童クラブを 4 月からスタートしたところでございます。地元が率先してこのクラブを運営しているという実態でございます。それぞれの地域にそれぞれの課題があろうかと思えますけれども、その課題を的確にとらえて、その課題に向かって全員が協力しながらその解決に向かって一丸</p>

	<p>となって進むというのは大変素晴らしいことではないかと思っております。ここに改めて皆様方に敬意と謝意を表する次第でございます。</p> <p>さて、現在、市では平成27年度からスタートいたします市の総合計画の策定作業を進めております。南区でも新たな区ビジョンの策定に向けて、現在、作業を進めているところでございます。先程申し上げました新たな地域福祉計画、そうした計画と十分整合性をとりながらその策定を進めていくこととなります。委員の皆様にはこれまで以上にご負担をおかけすることとなりますけれども、何卒ご理解、ご協力をお願いする次第でございます。</p> <p>土橋先生におかれましては、現在の計画策定に当初からご指導、ご助言をいただいていたところでございますけれども、今後ともまた先生に何かと助言等をいただきながら、この計画策定を進めていきたいと考えております。皆様方の十分なお協力をお願い申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。本日は、大変ご苦勞様でございます。</p>
事務局	<p>なお、副区長はこの後別の公務の予定が入っておりますので、大変申し訳ありませんが、ここで退席させていただきます。</p> <p>それでは、今年度に入りまして2名の委員の方より委員の退任の申し出がありました。各団体よりそれぞれ後任の委員をご推薦いただきました。順にお名前をお呼びいたしますので、お一人ずつ簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>最初に、臼井地区コミュニティ協議会の大野朗子委員、よろしくお願いいたします。</p>
大野委員	<p>初めまして。今年初めてコミュニティ協議会の副会長として選任されました。まだ私も分からない状態で今年1年間務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、南区連合保健会の知野美智子委員、よろしくお願いいたします。</p>
知野委員	<p>ごめんください。南区連合保健会の知野美智子と申します。私も今年初めてこの会に出席させていただきます、何も分かりませんが、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、本日、白根コミュニティ協議会の関屋委員、それから南区民生委員児童委員会連絡会の坪井委員、それから南区ボランティア連絡協議会の柳委員</p>

	<p>からは事前に欠席のご連絡をいただいております。ほかにもう2名の委員の方がお見えになっておりませんが、後程いらっしゃるものと思います。それと、アドバイザーの土橋先生がまだお見えになっていないのですが、先生も途中で来られるものと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、本日配付しています会議資料の確認を行います。まず、1枚ものですが、本日の会議次第。それから資料1といたしまして、平成25年度新潟市の地域福祉に関するアンケート調査結果報告書、厚いものでございます。それから資料2で南区地域福祉計画（案）という、若干薄いものです。それから資料3といたしまして、南区地域福祉アクションプラン（地域福祉計画・地域福祉活動計画）次期計画策定スケジュール（案）となっております。A3判1枚ものでございます。それから資料4といたしまして、2枚ホッチキスでとじてあります、次期南区地域福祉活動計画策定にともなう地区座談会の実施について。それから新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会委員名簿ということで、1枚ものがあるかと思っております。資料について、過不足などはございませんでしょうか。ご確認をいただきたいと思っております。</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>なお、後日会議録を作成する関係上、本日の会議の内容を録音させていただきますので、ご了解をお願いいたします。</p> <p>それでは、以後の会議の進行につきましては田中委員長からお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
田中委員長	<p>只今、委員長の指名をいただきました田中でございます。本会は皆様のご協力によりまして有意義な、しかもスムーズに会が終わることを大いに期待いたします。議長の前に着きたいと思っております。</p> <p>それでは、会議次第の4に入ります。平成25年度新潟市の地域福祉に関するアンケート調査結果について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>南区健康福祉課の川崎と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>本日お配りいたしました資料1の表紙をめくって1ページをご覧いただきたいと思っております。こちらは、地域における市民の福祉面での実態・要望を把握し、傾向やニーズを分析することにより、区地域福祉計画策定の資料を得ることを目的として、今年1月から2月にかけて、本庁の福祉総務課が主体となって実施いたしました市民アンケート調査の結果となっております。</p> <p>調査対象は住民基本台帳から不作為に抽出した新潟市全域の満20歳以上の男女4,000人で、回答数は2,323人となっておりますが、そのうち南区の回答数は137人でした。なお、現在の計画が策定された平成20年度にも、同様に市民を対象としたアンケート調査が実施されましたので、設問によ</p>

っては回答結果が前回の結果と比較した形で掲載されているものもございます。

それでは、調査結果の概要につきまして、時間の都合もありますので、いくつかの項目を抜き出して説明させていただきます。まず、5ページをご覧くださいと思います。地域福祉計画・地域福祉活動計画の認知状況についての設問です。結果といたしまして、地域福祉計画、地域福祉活動計画を知っていると答えられた方が2割強、知らないと答えた方が7割以上ということで、かなり認知状況が低い状況となっております。7ページをご覧くださいと思います。地区別の結果が載っておりますけれども、その中で、下から3番目のグラフですが、南区につきましては知っていると答えられた方が3割を超えておまして、市内8区の中では最も高いという結果が出ておりました。

8ページをご覧くださいと思います。悩みや不安なことについての設問であります。結果として、自分や家族の老後のことを挙げた方が割合として最も多く、それから2番目として自分や家族の健康のこと、その次に収入などの経済的なことを挙げた方が多かったという結果が出ております。10ページの下の表をご覧くださいと思います。地区別の結果が出ておりますが、南区につきましても、先程ご説明した三つの項目、自分や家族の老後のこと、自分や家族の健康のこと、収入などの経済的なことの3項目が多いという結果になっております。

続きまして、24ページをご覧くださいと思います。福祉に関する関心事についての設問です。一番多かったのは高齢者の介護やその予防についてという項目で、6割以上の方が挙げています。2番目としては健康の保持や増進についてというもので、34パーセントの方が挙げておりました。27ページをご覧くださいと思います。地区別の結果が出ておりますが、南区におきましても市全体の結果と同様に高齢者の介護やその予防についてということが一番多く、次いで健康の保持や増進についてが多くあげられておりました。

続きまして、34ページをご覧ください。住民相互の自主的な協力関係の必要性についての設問です。協力関係が必要かという問いに対しまして、必要だと思いと答えた方が約半数を占めておまして、必要だが難しいと思いと答えられた方も約4割いらっしゃいます。必要ないと答えられた方はごくわずか、約2パーセントという結果でした。36ページをご覧ください。地区別の結果になっておりますが、南区におきましても協力関係は必要だと思いと答えられた方が約半数いらっしゃいました。

続きまして、38ページをご覧ください。地域活動への参加状況についての設問であります。参加したことがある、参加している活動を挙げていただきましたが、自治会、町内会活動、地域コミュニティ協議会活動が最も多く、約4割の方が挙げられました。一方で、参加したことがないと答えられる方も25

パーセント程度いらっしゃったということです。また、前回の調査と比較して、自治会、町内会活動、地域コミュニティ協議会活動に参加したことがあると答えられた方が約1割以上減少しているという結果が出ております。41ページをご覧ください。地区別の回答になっておりますが、南区におきましても自治会、町内会活動、地域コミュニティ協議会活動に参加された方が最も多くいらっしゃいますが、南区の特徴として、その下の老人クラブ、こども会、婦人会の地域活動に参加されている方がほかの区と比べて非常に多いという結果が出ております。また、地域の健康づくり活動や食生活の改善に関する普及啓発活動、交通安全や防災、防犯などの地域の安全活動に参加していると答えられた方がほかの区に比べて割合が多いという結果が出ております。

42ページをごらんください。地域活動への参加意欲についての設問です。地域で行われている活動に参加したいかという問いかけに対しまして、積極的に参加したいと答えた割合が最も高いのが文化・芸術・スポーツなどのサークル活動でありました。「積極的に参加したい」「参加したい」の合計も同じくサークル活動が最も高かったということだったのですけれども、「積極的に参加したい」「参加したい」の合計が、「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計よりも多い活動が一つもなかったという結果でした。前回の調査と比較いたしましても、「積極的に参加したい」「参加したい」という回答の割合が全般的に低下しているという結果が出ております。

続きまして、52ページをご覧ください。地域内における個人情報の共有や活用への是非についての設問です。見守り活動や防災などのために自治会・町内会などの地域で個人情報を共有、活用することについての設問でしたが、必要最小限度で共有、活用すべきと答えられた方が6割強ということでした。共有、活用すべきではないという回答は10パーセント以下という結果が出ております。54ページをご覧ください。地区別の結果ですが、南区においても、市全体の結果と同様に最小限度で共有すべきという回答が最も多くなっております。

続きまして、62ページをお開きください。より住みやすい地域とするための必要条件についての質問です。どのようなことが必要だと思いますか、という問いに対しまして、住民同士の声かけ、助け合いなど「近所づきあい」があるというのが最も多く、半分弱の方が挙げられておりました。次いで緊急時に手助けの必要な人を地域で助け合う体制ができているという回答が36パーセントという結果が出ております。65ページをご覧ください。地区別の結果ですが、南区におきましても、住民同士の声かけ、助け合いなど「近所づきあい」があるという答えが最も多く、次いで緊急時に手助けが必要な人を地域で助け合う体制ができているという回答が2番目でありますが、特徴的な回答といたしまして、地域医療が充実しているという回答がほかの区と比べて高いという

<p>田中委員長</p>	<p>傾向になりました。</p> <p>続きまして、69ページをご覧ください。地域福祉推進のために新潟市が力を入れるべきことという設問です。最も多かったのが地域の福祉を担う人材の育成ということで、次いで情報提供や相談できる場所の設置、地域の課題やニーズの把握といったものが続いていました。71ページをご覧ください。下の地区別の表ですけれども、南区でも同様に先程申し上げた三つの項目の割合が多かったという結果が出ております。</p> <p>続いて、75ページをお開きください。最後の設問となりますが、新潟市社会福祉協議会に期待することという設問です。結果といたしましては、福祉に関する総合的な相談窓口の充実、また、地域の見守り・ささえあい活動の推進・支援という回答が4割を超えて多かったという結果でした。78ページをご覧ください。地区別の結果が出ておりますが、南区におきましても上二つの項目の割合が多いという結果になっておりました。</p> <p>只今説明できなかった項目につきましては、後程目を通していただけるとありがたいと思います。以上で資料1の説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの資料1について、抜粋した説明がございましたが、皆さんのほうでこれはというご質問がございましたら承りたいと思いますが、いかがでしょうか。ございませんか。</p> <p>特にないようですので、次に、会議次第5、新潟市地域福祉計画（案）についてに移ることにいたします。事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料2をご覧いただきたいと思います。こちらは本庁福祉総務課が策定いたしました新潟市地域福祉計画の素案となっております。</p> <p>表紙をめくって1ページをごらんください。第1章、計画の概要、1. 計画策定の趣旨ですが、下から2番目の段落に記載のとおり、現在の地域福祉計画・地域福祉活動計画、南区では地域福祉アクションプランと総称しておりますけれども、これは平成21年3月に八つの区毎に策定されまして、平成26年度が6年間の計画期間の最終年度となっております。今後、各区においてそれぞれの計画の改定が進められますが、これと併せて新たに新潟市全体としての地域福祉計画が策定されることになり、今年3月末からこの市全体計画の策定・推進委員会において内容の検討が行われております。なお、本日お配りした計画の案はその委員会の第1回目の会議で市の福祉総務課から示された素案であり、既に委員会の議論の中で文言等の修正が行われている部分もありますので、その旨ご承知おき願います。</p> <p>続いて、2ページをごらんください。2. 計画の位置づけ、(2)他計画との関</p>

<p>田中委員長</p> <p>事務局</p>	<p>係ですが、下の図のとおり、市全体の地域福祉計画は新潟市総合計画の下に位置づけられ、さらにその中に各区の地域福祉計画・地域福祉活動計画が包含されることとなります。また、地域福祉計画は、総合計画実施計画や各区の区ビジョンまちづくり計画、福祉・保健の各分野に関連する計画や施策と横断的に関連し、地域福祉推進の理念や方針を定めるものとなっております。</p> <p>次に、3ページをご覧ください。(3)地域福祉計画と地域福祉活動計画の関係ですが、記載のとおり、行政が策定する地域福祉計画と社会福祉協議会が主となって策定する地域福祉活動計画は地域福祉の推進を目的としてお互いに補完・補強し合う関係でありますので、次期計画についても区毎に一体で策定するものとしています。</p> <p>次に、4ページをご覧ください。第3章、市計画の基本理念・目標ですが、地域福祉計画のイメージ図が記載されています。一つの基本理念の下に基本目標の枠が二つ表示されていますが、左が市全体計画の基本目標、右が区毎の計画の基本目標という考え方です。図の下の説明のとおり、市全体の計画は基本理念、基本目標などの大きな部分を策定し、各区の計画においては区の基本理念、基本目標のほかに地域の実情を反映させた具体的な目標、施策などが盛り込まれます。その下に市計画の基本理念、基本目標が記載されています。基本理念として「だれもが安心して暮らせるように地域で支えあうまちづくり」となっておりまして、基本目標として1から4まで記載しておりますが、計画策定・推進委員会での議論の結果、一部表現の修正があると聞いております。なお、時間の関係上5ページ以降の部分につきましては、後程各自でご確認をいただきたいと思っております。</p> <p>市全体の計画については、概ね今月末から来月初めを目途に内容が固まり、福祉総務課から各区に示される予定となっておりますので、それを受けまして、本格的に区の計画、南区でいえば南区地域福祉アクションプランの策定に移ることとなります。今後のスケジュールについてはこのあとの次第6でご説明したいと思います。</p> <p>以上で、資料2の説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>只今の説明についてご意見、ご質問がございましたら承りたいと思っております。いかがでしょうか。特に何か気づかれた点はございませんか。</p> <p>ないようですので、次に、会議次第の6に入りたいと思っております。南区地域福祉計画・地域福祉活動計画策定のスケジュールについてに移ることにいたします。事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>資料3、A3判横1枚の資料ですけれども、こちらをご覧くださいと思います。</p>
-------------------------	---



います。南区地域福祉アクションプランの次期計画策定スケジュールの案を時系列の図表で表示してあります。3月に開催いたしました昨年度の第2回推進委員会では、市全体の計画と合わせた目安のスケジュールをお示しいたしましたが、今回は南区の計画に特化して、もう少し詳しい内容の案を配付させていただきました。表の左から右に向かって進んでまいりますが、最終的な目標としましては、一番右、来年の3月に次期計画を公表するという事になっておりますので、そこから逆算をしておおよそのスケジュールが決まってきます。これに向けた動きを項目毎に分けて記載しましたので、一通り説明させていただきます。

表の項目の上から2段目、推進委員会開催の段をご覧ください。本日、5月15日に第1回の推進委員会を開催しております。同時に、地域福祉計画の部分では、先程説明いたしましたとおり、市全体の地域福祉計画の策定が進められており、概ね6月を目途にその内容が各区に示されますので、それを受けて事務局で作成した南区の地域福祉計画の構成の大枠の案を第2回の推進委員会でお示ししたいと考えております。開催時期といたしましては、6月下旬から7月上旬頃を予定しております。その後、計画の具体的な内容の検討に入りますが、各論部分の検討におきましては、状況に応じてこの推進委員会の分科会を開催して、内容の議論を深めていくということも考えております。また、同時に地域福祉活動計画の部分では、南区内の各地区において座談会を開催させていただき、多くの住民の皆様から地域別の計画の策定にかかわっていただきたいと思っております。座談会の開催の概要については、この後の次第7で詳しく説明いたします。

これらの内容の検討の中間報告として、8月頃に第3回の推進委員会を開催する予定です。そして、10月上旬を目途に次期計画の素案を決定し、第4回の推進委員会にお示しして、委員の皆様からのご意見をいただくとともに、10月に開催される南区自治協議会にも同様に計画の素案を報告したいと考えております。いただいたご意見を計画に反映させ、第5回推進委員会で修正案を報告させていただきたいと思っております。その後、市議会の12月定例会の市民厚生常任委員会に計画案を報告し、12月から1月にかけてパブリックコメントを実施する予定です。これは、市全体の地域福祉計画及び各区の地域福祉計画、地域福祉活動計画と併せて行うことになっております。これらを経て、来年の2月上旬には計画の成案を決定、第6回推進委員会で委員の皆様から最終的な内容確認をしていただき、その後、一般配付用の冊子の印刷、計画の公表という流れを予定しております。

なお、これはあくまでも現段階の予定ですので、今後の計画策定の進捗状況によって推進委員会の開催時期や開催の回数等が前後する可能性が十分考えられますので、その場合は何卒ご了解くださいますようお願いいたします。以上

<p>田中委員長</p>	<p>で、資料3の説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>いよいよ中身の細かい説明があったようですが、皆さん方の生の声を聞かせてもらいたいと思います。いかがでしょうか。特にございませんか。</p> <p>特にないようですので、次第の7に入りたいと思います。地区座談会の開催について、細かい内容を事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>地区座談会について、南区社会福祉協議会の池田よりご説明させていただきたいと思います。日頃より社会福祉協議会の事業にご理解、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>お手元に配付させていただきました資料4をご用意いただけますでしょうか。次期南区地域福祉活動計画策定にともなう地区座談会の実施についてという資料をご用意ください。今ほど、資料3の南区地域福祉アクションプランの次期計画策定スケジュール案の説明がありました。ここにございますように、今年10月までに計画の素案が決定するという非常にタイトなスケジュールになっていることにもなしまして、地区座談会を今年の6月から9月の間に12地区2回ずつ開催したいと思っております。座談会のスケジュールについては、地区社会福祉協議会の会長宛に開催希望日を事前に提出していただいております。そちらを調整させていただいたのが、1枚おはぐりいただきまして資料4-1になりますが、こちらの地域座談会の日程、スケジュールがこのように12地区でされております。10番の白根地区、11番の味方地区が未定ですけれども、こちらについては近日中に社会福祉協議会にご報告いただけると伺っておりますので、こちらの間もなく確定いたします。今日の委員会の終了後、各地区の社会福祉協議会の会長、そして地域生活センターにこちらの日程の予定を発送させていただくことにしております。</p> <p>それでは、資料4に戻っていただきまして、座談会に集まっていただきたい、ご参加いただきたいメンバーの皆さんですけれども、南区社会福祉協議会では地区別に福祉座談会をこれまで開催してきておりました。コミュニティ協議会、民生委員、児童委員、そして地区社会福祉協議会、老人クラブ、保健会、ボランティア団体、障がい者の当事者の方などに今回の座談会に集まっていただきたいと思っておりますが、地区によってはこの方も入れてほしいというご意見もあろうかと思っておりますので、ここは南区の地区の担当者と地区社会福祉協議会の会長とご相談させていただきたいと思っております。</p> <p>3点目に、座談会の内容について記載させていただきました。先程の市が行ったアンケートにもございましたように、秋葉区と南区では地域福祉計画活動計画を知っているという回答が3割を超えているという結果が出ておりますけ</p>

事務局	<p>れども、南区では66.4パーセントの方が知らないという回答されております。やはり、地域座談会を開催するに当たりまして、まず、冒頭、このアンケートの結果にもありますように、存在を知らない方が多いという状況もあります。また、役員の改選で当時の参加者がいらっしやらないという状況もあろうかと思っておりますので、冒頭、この地域福祉活動計画のアクションプランの再確認をさせていただきますと思っております。</p> <p>そして、平成26年3月に南区では中間評価を実施しております。こちらを活用しまして、この6年間で進んだものと進まなかったものを整理する必要があるのではないかと考えております。そして、1日目の座談会では、先回、地域福祉計画、活動計画を策定するに当たり話し合った地域の課題、それを解決したかというところを皆さんと話し合いをしていただき、これは継続すべきか、それとも一旦終了とするかといったところを皆さんと協議していただきたい、座談会の中で皆さんと意見交換していきたいと思っております。</p> <p>そして、2回目の座談会は、裏面になりますけれども、まず、1回目を開催させていただいて1か月程、また地域においては2か月程間が空いてしまうところもございます。まず、1回目の振り返りをさせていただきまして、その後、この地域で新たに生まれた課題、また、今後想定される地域の課題といったものはないだろうかということを皆さんと確認したいと思っております。そして、ワーク1で課題解決のために地域にどんな仕組みやどんな活動が必要かということをご一緒に考えていきたいと思っております。そして、1回目で継続すべきと出てきた課題と、2回目で新たに皆さんと話し合われた課題、この辺を踏まえて新たな推進目標を皆さんと一緒に作っていただきたいと思っております。</p> <p>簡単ではございますが、地区座談会の説明を終わりたいと思っております。</p> <p>南区役所健康福祉課高齢介護係の篠沢と申します。引き続き、特色ある区づくり事業のご説明をさせていただきますと思っております。</p> <p>健康福祉課では、今年度から3か年をかけて「笑顔で長生き、「幸齢者」を支える地域づくり」を行います。事業内容は、介護予防やリハビリなどを通して信頼関係の大切さを知ってもらうとともに、地域の高齢者を地域で守り、地域で支援していくことで、安心して暮らせる高齢者に優しい地域づくりを目指す内容となっております。今年度は、今ほど事務局の社会福祉協議会より説明がありましたが、地域福祉活動計画策定のための南区内12地区全ての地区懇談会において、この推進委員会のアドバイザーをしていただいております土橋先生より、高齢者の見守りや地域づくりについてミニ講話をいただく予定としております。地区座談会は地区社会福祉協議会、それから南区社会福祉協議会が主体となって行います。コミュニティ協議会の皆様をはじめ地域の方々から</p>
-----	--

	<p>大勢参加していただいて、地域の目指す方向性を考える参考にしていただけたらと思っております。また、9月頃には、市民の方々を対象として、地域で高齢者の見守りや支援に関することを題材とした講演会を開催する予定です。現在の少子高齢化や財政状況から、地域の高齢者を地域で支えることが必要であり重要であるという認識を持ってもらい、地域で高齢者を支えていく活動に生かしていくことを目的としております。開催の準備が整いましたら推進委員会の皆様へもお知らせいたしますので、委員の皆様からも地域の方々へ広報していただいて、大勢の方々からご参加いただいて、関心を持ってもらえるようにご配慮をお願いいたします。介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるような仕組みを地域の皆様と一緒にこの区づくり事業を通して考えてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
田中委員長	<p>ありがとうございました。いよいよ地区とも密着していくという説明があったと思いますが、皆さん方のご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。いよいよ第2次計画の本番でございますが、ご意見はありませんか。</p> <p>根岸地区の横山委員、何かありますか。</p>
横山委員	<p>根岸地区から参りました横山と申します。</p> <p>先程も委員長が言われたように、本腰を入れる時期に入ってきたかなと思っております。私達も地域に戻りまして、座談会、1回目、2回目を開いていくわけですけれども、土橋先生の話、ミニ講話も参考にしながら、いい方向に進めていきたいと思っております。</p>
田中委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>渡邊委員、いかがでしょうか。</p>
渡邊委員	<p>大通地区の渡邊です。</p> <p>1回目、2回目ということで、2回目で一応終わりますという予定にはなっているのですが、何と言いますか、2回目は1回目と違っていろいろな意味で想定される地域課題とかどのような仕組みでということ、けっこう具体的に厳しく話をせざるを得ないのではないかと考えますと、時間がかかりかかるのではないかと思っております。1回目の方はおそらく反省会みたいなものですから、2回目になると今度は突っ込んだ話、もちろん1回目から突っ込んだ話はあるかと思いますが、おそらく土橋先生のお話をお聞きしてから入っていくのではないかと思いますので、そうすると、認識もかなり違ってくると思います。その辺、2回目は本当に何時間くらいかけてやったらいいのか</p>

	<p>なという感じがしないでもありませんので、その辺の時間配分をお聞きできたら教えていただきたいと思います。</p>
田中委員長	<p>今、時間配分が分かったほうがいいですか。</p>
渡邊委員	<p>いや、前までに分かれば結構だと思いますけれども、一応、会場の予約とかそのほかいろいろあるかと思いますが。時間的には1時半からということまで午後一杯取っておく予定ではありますけれども、そういう意味で、目途としてどのくらいというのがありましたので。</p>
田中委員長	<p>では、それはまた後日ということにいたします。 笠井委員、いかがですか。</p>
笠井委員	<p>味方地区の笠井でございます。 味方地区はまだ座談会の日程が決まっていらないのですが、6月末と7月末で調整中でございます。そのような中で、今までの話し合いあるいは座談会の内容を踏まえて、この6月と7月の座談会に突っ込んだ意見というか集約とかまとめなければならないということで、実感しております。</p>
田中委員長	<p>ありがとうございます。 ただいま、お向かいのお三方からご意見を頂戴しました。それぞれに責任のある素晴らしい前進的なお考えだと思います。先程事務方の説明もありました。今回の地区座談会は地域別の地域福祉活動計画の更なる改定作業だと思いますので、地域包括ケアシステムの構築に向けた意識醸成ということでしょうか、各会場においても土橋先生から特別にご参加いただきまして、素晴らしいアドバイスをいただきたいと思います。どうでしょうか、先生、この辺一言だけ。</p>
土橋アドバイザー	<p>今回、新しい委員もいらっしゃると思うのですが、これからの2回ある座談会について、今、社会福祉協議会の池田さんがご説明をされたので、大体その方向で行くということに分かると思うのですが、少し留意点としていくつか気にしてほしいことがあります。今までやってきたことを評価して、それをどうするかという話し合いをすることになりますが、今回、たまたまミニ講演会を実施することになっております。夜の7時から始めて3、40分の時間で講演は終わらせるということになっているのですが、それにしても残された時間がそんなにあるわけではないので、そういう意味から、それとまた、ミニ講演会に参加された方は必ずしも地域福祉活動計画を意識しているかどうか分からないわけで、そんなこんなで皆さんが集まったときに今まで</p>

やってきたことをいかに理解してもらおうかということと、どんな課題や問題があるのだということを役員の方々からきちんと話していただく時間も必要なのではないかと思います。これは南区社会福祉協議会の方でやるということになるのか、皆さん方が直接やられるかは分かりませんが、そこをやっておかないとうまくいかないのではないかとということが一つ。

もう一つは、いろいろな課題が出てくるときに、どうしても個人の問題も当然出てくるだろうと思うのです。そのときに個人の問題については、やはりプライバシーの問題が絡んできますので、できる限りは何々さんという名前で問題を提起するのではなくて、一般化してやっていくということをするとか、もし、どうしても名前を出さなければ、また、皆さんが分かっている方の課題であれば、当然それは名前が出たとしても仕方がないのですけれども、そのときには守秘義務、来た方にこれを他言しないようにということ、正しいこととか悪いことかということ、抜きにして、やはりきちんと伝えてやっていただくようにするということがまず大事ではないかと思います。それから初めて参加して下さる方々もいらっしゃると思いますので、そういう方々がただ話を聞いて帰ってしまうということではなくて、できればグループに分かれてみんななで小さいテーブルを囲んで話し合える状況を作っていた方がいいのかなど。そういう中で浸透させるということをしていただけるとありがたいと思っております。

特に皆様方をお願いしたいのは、皆様方は座談会をするときにある程度目標を持って進めていくということになりますから、その前の段階で地区の役員たちがどのように進めるか、どういうことを目標にして進めるかなどを話し合っておいていただいて、それから役員の皆様方はお忙しいでしょうけれども、なるべくその座談会には出ていただくという方向で取り組んでいただければいいと思います。やはり、役員のやる気が地域の方々を動かすことになると思いますので、その辺のところを是非お願いしたいと思っております。

それからもう一つ、最後をお願いしたいと思うのは、やはり来期の計画に向けてどうしても問題解決ができる仕組みをどこかで地区毎につくっていくという、その地区の中では社会資源が少なく問題解決に至らないという状況のときには区に上げてくるということで、区でだめなら市の全域ということで考えていただくように、少し考えてもらうといいのだろうと思います。困ったときにどこへ行ったらいいのかということ、皆さんに知っていただくということが大事かと思えます。例えば、地域包括支援センターであったり、こういうセンター、児童センターもありますけれども、健康福祉センターとか役員の皆様のところとか民生委員、児童委員の皆さんのところであるとか、誰を頼っていけばこの地域の中では相談に乗ってもらえますというように、是非、解決するために仕組みがあるということ、理解していただくということが必要かなど。当

田中委員長	<p>然のこととして、そういう相談ができる場ができるとなれば、今度は相談機関とか団体、相談の支援をしてくれるところのネットワークを作っていかなないと問題がすり抜けてしまいますので、そういうものをこれからは考えていくと。これは南区社会福祉協議会と一緒に考えていけばいいかなとは思いますがけれども、是非、その辺をお考えいただければいいかなと思います。</p> <p>それから社会資源マップのようなものをできれば今後作って、自分の地域にはどれだけ自分たちの問題を解決してくれるような組織があるのか、機関があるのかということをはっきりするのは非常に大事だろうと思いますし、特に緊急時、それから天災とかのときに本当に高齢者の問題とか障がいを持っている人たちの問題、そういう人たちをどうやって安心・安全の世界に連れて行けるか。置いて行ってしまおうのではなくて、その人たちに本当にどうやって安全を確保するかということを考えますと、その人達の顔の見える関係づくりも必要になってくるわけで、そのようなことを少し意識して進めてもらえるとありがたいと思います。</p> <p>地区福祉活動計画の方向性については、先程区社会福祉協議会から話のあった第1回、第2回の進め方というものがありますけれども、そういったものを参考にしながら進めていただきたいわけですが、ぜひ、役員の方々においては1回目で話し合ったものを整理して2回目に持ち込んでいただくということをしていただきたいし、役員でじっくり考え、話し合った上でまた住民に提案し、住民の中から更に意見を引き出すという方向できめ細かく対応していただけるといいのではないかと考えております。</p> <p>そんなこんなで私も12地区にお邪魔させていただきますので、一つご協力いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。それからミニ講演会の中身についてですが、高齢者の見守り及び支援の必要性ということで、これからの地域づくりを目標にして、今当面している活動について、少しでもお話しできればと思っております。それから今、社会的課題がいろいろありますので、そういったものも少し含めてお話しさせていただければと思っております。3、40分ですからそれほど時間がないので、やれるところは短いかもしれませんが、いろいろお話しさせていただければと思っております。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>只今のお話をお聞きして、皆さん方からご質問がございましたら承りたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>特にないようですが、いよいよ12地区に先生からお足をお運びいただき直にお話くださるということで、非常にありがたいことだと思いますので、是非とも地元の立場で、お互いに福祉の関係で突っ込んだ話し合いができれば非</p>
-------	---

事務局	<p>常にありがたいと思います。</p> <p>特にないようですので、次に、会議次第の8に入りたいと思います。その他です。事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>この4月に南区健康福祉課地域福祉係に参りました吉田と申します。</p> <p>今回、二人の委員の方が初めてこの会議に来られました。私も初めて来たのですが、新しい委員の方にもこういう会議とご理解いただいたと思いますし、また土橋先生からもいろいろお話をいただきまして、新しい計画づくりもご理解いただいたと思います。ただ、平成26年度までまだ現計画が残っていますので、その推進とともに、次期計画の策定につきまして、皆様からご協力、ご理解、いろいろお力添えをいただきながら進めていっていただきたいと思います。</p> <p>今、先生から各地区の座談会に皆さんからも是非参加していただければというお話がありました。皆さん、委員の中で各地区の役員をされていて地区のそういう団体に入っている方もいらっしゃると思うのですが、ほかの地区の座談会にも出てみたいということがあれば、各12地区の第1回座談会のスケジュールを皆様にお配りしたいと思いますので、もし出られるようでしたらほかの地区も見ながらご参加いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>もう1点、連絡ということで、第2回の推進委員会開催につきまして、取りあえず、今、6月下旬から7月上旬の間に開催を予定しております。この度は資料等、事前配付ができなかったのですが、次回からは事前配付を含めましてご案内申し上げたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
田中委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>只今の説明にご意見はございませんか。</p>
中野委員	<p>私は過去に、まだここに来ないときに、茨曾根地域なのですけれども、茨曾根地域の保健推進員として座談会に行ったことがあるのです。社会福祉協議会が司会進行してくださって、多分、これをやったと思うのですけれども、そのときに私は保健推進員だったので、自分が障がい者団体にいるのだけれどもそれはさておいて地域のことを話したりしていたのです。しかし、今、こうやって思い出したら、障がい者のことも言ってもよかったのだなと思って、とても自分が恥ずかしいのですけれども、障がい者団体、私は手をつなぐ育成会なのですが、その方々にこの日程をお知らせして、その方々がここに出てもいいのですよね。一般ではないけれども障がい者の方々がこちらに行ってもいいですよ。私は以前、保健推進員として参加してくださいと言われて参加したので、</p>



	その方がいいですよ。
田中委員長	そうですね。
中野委員	分かりました。ありがとうございました。
田中委員長	ほかにご意見ございませんか。 特にないようですので、これで第1回南区地域福祉アクションプラン推進委員会を終了いたしたいと思います。本日は、誠にありがとうございました。